

～病気と向き合う子どもと家族へ「心身のリカバリー」を。ファイテンの技術でハウスの滞在をサポート～

「頑張る家族に、ひとときの休息を。」

ファイテンとドナルド・マクドナルド・ハウスが連携、支援活動を開始

ボディケアカンパニーのファイテン株式会社（所在地：京都市中京区、代表取締役：平田好宏、以下ファイテン）は、病気と向き合う子どもとそ
のご家族を支援するドナルド・マクドナルド・ハウス財団の活動に深く賛同し、同財団とのパートナーシップによる継続的な健康支援活動を開始いたし
ます。



変化する小児医療と家族への負担

近年、小児医療を取り巻く環境は大きく変化しています。

小児科の減少により医療アクセスの地域格差が拡大し、専門的な治療を求めて都市部の医療機関へ長距離移動を余儀なくされるケースが増えて
います。また、入院の長期化に伴い、保護者は付き添いによる就労制限や家計負担、きょうだいケア※など複合的な課題に直面しています。さらに
医療従事者不足の影響により、家族が担う役割も年々大きくなっています。

こうした状況の中で、病児本人だけでなく「家族の心身のケア」が重要な社会課題となっています。

※きょうだいケア：病気や障害のある子どもの「きょうだい（兄弟姉妹）」への支援のこと。家族の関心が病気の子どもに集中しがちな環境下で、きよ
うだいが抱える孤独感や葛藤、我慢に寄り添い、健やかな成長を支える取り組みを指します。

“支える人を支える”健康支援

ファイテンはボディケアカンパニーとして、「家族の体と心のケア」に着目し、ドナルド・マクドナルド・ハウス財団と連携した支援を行います。

- ・ハウス利用家族に向けたボディケアを中心とした健康サポートの提供
- ・心身の負担軽減を目的としたセルフケア支援
- ・入院中から退院後までを見据えた継続的なサポート体制の検討

本取り組みにより、付き添い生活における疲労やストレスの軽減を図り、子どもを支える家族自身の健康維持に貢献してまいります。

“入院中と在宅をつなぐ”支援へ

今後は、ハウス滞在時の支援に加え、退院後や在宅療養時にも継続できる健康サポートの展開を目指します。

「入院中も在宅も切れ目なく続くケア」を実現することで、家族の負担軽減と生活の質向上に寄与してまいります。

ファイテンが目指す社会との関わり

医療体制が変化する中で、病児とその家族を支えるのは病院だけではありません。

ファイテンはボディケアカンパニーとして、家族の体と心を守ることが、子どもたちの安心につながると考えています。

本取り組みを通じて、社会とともに未来の小児医療を支える一助となることを目指します。

共創価値（CSV）の創出

本活動は、単なる支援ではなく、企業の強みを活かした「共創価値（CSV）」の創出を目的としています。

ボディケア領域、ウェルネス領域、リハビリ領域で培ってきた技術や知見を活用し、社会課題の解決と企業価値向上の両立を図ってまいります。

企業情報

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

病気と向き合う子どもとその家族を支援することを目的に、医療施設の近くに無償で滞在できる施設の設置・運営を行っています。あわせて、ボランティア活動の推進や啓発を通じて、日本における医療・福祉の支援体制の充実に寄与しています。

URL : <https://www.dmhcj.or.jp/>

ファイテン株式会社

1983年の創業以来、「すべては健康を支えるために」というポリシーを掲げ、あらゆる人の健康をサポートしてきました。オンリーワンの技術開発に力を注ぎ、金属をナノレベルで水中に分散させる「アクアチタン技術」を活かし様々なストレスケア・ボディケア商品を世に送り出しています。世界各国で100以上の特許取得の実績があり、一般の方からトップアスリートまで大きな信頼を集め、その商品力は世界でも高い評価を受けています。

URL: <https://www.phiten.com/>

<本件に関するお問い合わせ先>

ファイテン株式会社

広告宣伝部：古田

MAIL:pr@phiten.com